

L'aile d'Howl



インターハイが終わり秋の気配。
今度は全日本インカレが続きます！
嬉しいニュースも盛りだくさん！

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2011年9月号



1

ジャパンオープントーナメント in 岐阜！

インターハイが閉幕した翌日の夜、花巻クラブのメンバーはジャパンオープントーナメント(JOT)大会出場に向けて花巻を出発しました。次年度国体のリハーサル大会となっているこの大会。一昨年は千葉での大会に出場しています。今回の会場は岐阜県高山市。高山市に到着後、開会式まで時間があつたので高山市内を見学。町屋が並ぶ古い町並みに心を癒された後、高山市文化センターでの開会式及び代表者会議に出席しました。開会式では、かわいい園児たちのパフォーマンスで歓迎されました。



翌日は飛騨高山ビッグアリーナでの試合。初戦は過去 JOT で3位になったこともある四国ブロック代表の高知クラブとの対戦でした。オフェンスは悪くなかったものの、課題のディフェンスの悪さが目立ち、相手にミドルシュートやポストシュートを簡単に打たせすぎてしまい、初戦敗退。残念な結果でしたが、随所にいいプレーも見られたので、今後の試合に活かしていければと思います。いつも感じるのですが、県外チームとの対戦は新鮮で、非常に面白いです。次回もこのような全国大会に出場できるよう、県内大会で頑張っていきたいと思います。

2

JOC 東北予選会 ~ 岩手県は男女揃って本選へ

9月3日~4日、青森県青森市の青い森アリーナにおいて、第20回 JOC ジュニアオリンピックカップ東北予選会が開催されました。岩手県選抜男子チームには、中総体県大会で優秀選手に選ばれた山崎純平選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)、佐藤夢良選手(リトルハンド→花巻北中)の2名、女子チームには伊藤佳奈選手(花巻クラブジュニア→花巻中)がメンバー入りしました。

男子チームは初日の予選リーグで、秋田、青森を下し、Aブロックを1位通過。翌日の決勝リーグでは福島、秋田、宮城の3県との総当りリーグ(予選の結果適用)となりましたが、点差も危なげなく、東北での優勝を手にしました。どちらも身長180cmを超える花巻の両エースの活躍が光ったものと思われます。同じく女子ですが、山形県が不参加となったため、5県による総当りリーグ戦となりました。その結果、岩手県は全勝しかも得失点差+65点という大差で優勝を決め、余裕で本選への出場権を獲得しました！岩手県ここにありという存在感を示すことができた大会だったと思います。





さて、男子は岩手、福島、秋田、女子は岩手、福島がそれぞれ東北ブロック代表として、12月末に名古屋市で開催される本大会へ出場します。東日本大震災後、最初の JOC 大会となります。全国から寄せられた支援に感謝の気持ちを表し、そして東北が元気に頑張っている姿を大いに見せられるような大会にしてほしいと思います。東北代表チーム各県の健闘を期待します！

頑張れ岩手！頑張れ東北！

3

藤原千寛選手が日本女子ユース代表に選出

嬉しいニュースが飛び込んできました！花巻クラブジュニア→花巻中でプレーし、現在不来方高校2年生として先月のインターハイにも出場した藤原千寛選手が、U-18 日本代表に選出されました！男子はこれまで、森田啓亮選手（早稲田大1年）、斉藤凌選手（不来方高2年）の2名が花巻クラブジュニア卒団生から年代別日本代表入りしていますが、女子では初めてとなる快挙！花巻のハンドボール関係者に大きな喜びを与えました。

藤原選手は小柄ですが、持ち前のスピードとシュート力、そしてボールへの執念（自分のシュートのリバウンドも自分で取る！）が評価されての選出だったと思います。小学校の頃からハンドボールが大好きで、花巻中学校時代には富山県氷見市で開催された春の全国中学生大会への出場経験もあります。その藤原選手ですが、9月23日から熊本県山鹿市にて開催される第4回女子ユースアジア選手権に出場します。韓国、カタル、イラン、カザフスタンの4カ国との対戦になります。初めての日の丸に緊張もあると思いますが、是非とも岩手・花巻で培ったハンドボールパワーを十分に発揮してきて欲しいと思います！ガンバレ！



不来方高のエース藤原千寛

4

「笑ってコラえて！」男子ハンドボール部の旅がついに完結！

日本テレビ系列の人気番組「笑ってコラえて！」で「男子高校生ハンドボール部の旅」がついに完結！今年3月の東日本大震災前に取材が決まり、約半年に渡ってその奮闘ぶりが放送されてきた不来方高校。長身コンビの大宮潤次選手、工藤大和選手から新人の安倍竜之介選手にスポットが当たり、最後はチームをずっと引っ張ってきた千葉敦選手がクローズアップ。中学時代から熱戦を繰り広げてきた沖縄県代表同期の東江雄斗選手（以前花巻に



きて小学生を指導して下さった東江正作さんのご子息です）とのライバル対決は非常に見応えあり、またとても感動的でした。負けて涙するチームから勝ったチームへバトンが託され、そしてハンドボールの絆が強くなっていく…まさに今回、東日本大震災後に開催された北東北インターハイを象徴するかのような映像でした。編集長も大会期間中、テレビ局のスタッフさんとお話する機会があり、波乱続きの大会内容をどのようにまとめるのか聞いたりしたのですが、さすがプロですね！「高校生の熱いドラマ」をまさにそのまま描いてくれました。また、大会全体の盛り上がりも分かるような映像も満載で、大会運営に関わったものとしても非常に嬉しい番組構成でありました。（この場を借りて感謝申し上げます）

さて、この番組の影響は少なからず、ますますハンドボールというスポーツに対する関心を高めたものと思います。

まだまだ続く花巻開催の全国大会も、この勢いで更に盛り上げていきたいものです！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2011年9月号
2011年9月25日 発行

発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to: 岩手ハンドボール応援ページ様、リトルハンド様、岩手日報様